

## 答辞

一月の大雪で積もった雪も解け、やわらかな日差しが降り注ぎ、春の訪れを感じる頃となりました。本日は、私たちのために素晴らしい卒業式を挙行してくださり、誠にありがとうございます。また、ご多忙の中ご臨席頂いたご来賓、先生方、保護者の皆様卒業生を代表し心から御礼申し上げます。先程より皆様から頂いたお祝いや激励の言葉を胸に、私たち一四六名は、本日卒業いたします。

三年前の春、たくさんの希望と少しの不安を抱きながら、私たちは三国高校に入学しました。思い返してみると、この三年間で嬉しかったこと、悔しかったこと、たくさんのことを経験し、その中で様々なことを学びました。

私が三年間の中で最も思い出深い出来事と言えば、昨年の学校祭です。今までとは違い、縦割り形式で学校祭準備が始まったり、新たな部門ができたりし、初めてのことにとても戸惑いました。部活とは違う後輩とのかかわりにどのように接すればよいのか迷ったり、期限までに間に合うか焦り、ピリピリした空気になることがあったりしました。それでもそれぞれの色、それぞれの部門で趣向を凝らし、力をあわせて素晴らしい作品を作り上げることができました。学校祭が終わり、達成感にあふれたみんなの笑顔はとてもキラキラしていて、みんなで協力して一つのものを作り上げることがどれほど大変で、どれほど素晴らしいことを学ぶことができました。

そして、毎日励んだ部活動。三年間を通して、努力が実り、嬉し涙を流すこともありました。しかし、そのなかで自分の思うようにできずに苦しみ、大好きだった部活動が嫌いになりそうになることもありました。それでも、親身に相談に乗ってくれる顧問の先生、先輩や後輩、そしてなにより共に切磋琢磨した仲間がいてくれたことでどんな困難も乗り越えることができました。そんな仲間と共に挑む最後の大切な大会にむけて今まで以上に練習に励んでいた中、新型コロナウイルスの影響により最後の大会の中止が次々と発表されました。これについては私たちではどうすることもできない状況であったため、本当に悔しい思いをしました。目指すべき場所がなくなってしまう中でも最後までやり遂げた三年間で仲間の大切さ、最後まで諦めずに取り組む大切さを学ぶことができました。

学校祭や部活動が終わり、それぞれの希望の進路に進むための準備に入り、一人一人違う試験対策になっていきました。試験が近づくにつれ焦り、不安になることが多くありました。それでも、放課後に声を掛け合って互いを高めあうことでやる気が出て、不安な気持ちが少し軽くなりました。また、不安でいっぱいな気持ちを支えてくれた先生方の存在は私たちにとても大きなものでした。お忙しい中、時間を割いて親身に相談にのっていただきました。その中でたくさんのアドバイスや応援をいただいたおかげで、たくさんの人に支えられていることを実感し、自信をもって試験に挑むことができました。

そして、私たちを支えてくれたのは先生方だけではありません。それは十八年間一番近くで見守ってくれた家族です。毎日早起きをしてお弁当を作ってくれたり、学校の送り迎えをしてくれたり、一緒に進路について考えてくれたり、部活の応援をしてくれたりしました。

何も不満を言わずにいつも支えてくれる家族がいなければ私たちはこれほどに成長できなかったでしょう。時には素直になれずに口をきかなくなる時もありました。それでも優しく、そして温かく見守ってくれた家族がいたことで今日のこの日を迎えることができたのだと心から感謝しています。

在校生の皆さん。皆さんにとって私たちは頼りになる先輩だったでしょうか。部活動や学校祭の準備でたくさん迷惑をかけてしまったかもしれません。しかし、私たちにあって皆さんはとても頼りになる後輩で、たくさん支えてもらいました。これから、高い壁にぶつかり、苦しむことがたくさんあると思います。そのような時に周りを見てください。支えてくれる仲間がたくさんいます。皆さんは、絶対に一人ではありません。先輩であるにもかかわらず、皆さんにたくさん助けられました。皆さんは私たちの自慢の後輩です。本当にありがとうございました。次は皆さんが後輩たちに三国高校の伝統を伝えていく番です。これからもずっと応援しています。

最後に三年生のみんな。三年前にここで出会い、三年間を共に過ごせたことは本当に嬉しく思います。休み時間に交わした何気ない会話、受験の時に支えてくれた言葉、一緒に過ごした時間、個性豊かで居心地が良いクラスの仲間は三年間の大切な思い出となりました。これから別々の道を歩みます。距離が離れていても、三年間の思い出で私たちはつながっています。これからも互いに支えあって、それぞれの道を一歩ずつ進んでいきましょう。

本日、私たちは三国高校から巣立ち、それぞれの道を歩みます。当たり前にあつた日常がなくなるのとは寂しいです。また、新型コロナウイルスの流行によりただでさえ、例年とは違う生活を送り、先が見えない中で、新しい環境で生活しはじめることに不安を感じます。しかし、これからどんなにつらいことがあっても、高校生活で学んだことは、これから生きる上できつと私たちの力になってくれるはずです。そして、前例のないことに挑むことが多かった私たちならどんなことも乗り越えられるでしょう。これからも三国高校の校訓である「心高かれ」の精神と、学んだことを生かして前に進んでいきます。

最後になりましたが、本日の卒業式にご臨席頂いた皆様のご健勝と三国高校の益々のご発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

令和3年3月1日

卒業生代表 五十嵐美空